

「平成 22 年度先進的・独創的活動支援事業②貧困対策等社会的支援（福祉的支援）が必要な事業」

**成人期の高機能広汎性発達障害者と家族のサポートツール開発事業**

主催：特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

協力：認定NPO法人 みやぎ発達障害サポートネット

高機能広汎性発達障害の成人期の方やそのご家族の方や支援者の方を対象に、支援についてのワークショップ形式によるセミナーと講演を行います。

ご家族の方には発達障害についての捉え方と関わり方、当事者の方には社会的行動のとり方について、短い時間ですが一緒に取り組みたいと考えております。

また支援者の方にもご参加していただき、今後の地域での活動に活かしていただければと思います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時： 平成 23 年 1 月 29 日（土） 9 時受付開始

9：30～12：30 セミナーと講演 / 12：30～13：00 支援者のふりかえり

場所： 宮城県建設産業会館（仙台市青葉区支倉町 2-48）

〈アクセス〉バス・仙台駅 29 番停留所より約 15 分。交通局大学病院前下車徒歩約 1 分  
／地下鉄・勾当台公園駅より徒歩約 10 分／タクシー・仙台駅より約 10 分

参加定員： 約 60 名（対象者：支援者・発達障害のある成人の方やそのご家族の参加も可能）

参加費： 無料

申し込み方法： NPO 法人アスペ・エルデの会のホームページの

「成人期の高機能広汎性発達障害者と家族のサポートツール開発事業」から、申し込みください。以下の URL の「申し込み・お問い合わせ」から入っていただき「エリア」を選んで必要事項をご入力ください。

<http://www.as-japan.jp/j/file/supportnet/supporttool.html>

申し込み時の入力事項：

①お氏名

②ご連絡先（携帯かパソコンのアドレス、お持ちでない方は電話かファクス）

③お立場（どれか一つを選んでください）

A) ご本人 B) ご家族 C) 支援者

④ご年齢

※資料準備の都合上、一人づつお申し込みください。

- ・定員に達した場合、お断りの連絡をさせていただきますのでご了承ください。
- ・こちらからご質問させていただきたい場合、連絡させていただく場合がございます。
- ・実施会場に事業内容についてのお問い合わせなさらないようお願いいたします。
- ・当日マスコミ以外の録音・録画はお断りしております。必要な場合は事前にご連絡ください。
- ・問い合わせは、ibasho@as-japan.jp もしくはファックス 052-505-5000 へお願いします。

各 位

アスペ・エルデの会 CEO

中京大学現代社会学部教授・浜松医科大学客員教授

辻 正 次

「平成 22 年度先進的・独創的活動支援事業②貧困対策等社会的支援（福祉的支援）が必要な事業」

成人期の高機能広汎性発達障害者と家族のサポートツール開発事業開催について

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊会ではこのたび独立行政法人福祉医療機構より助成いただき、別紙の通り発達障害のある成人とその家族のためのワークショップを行うことになりました。今年で 5 年目の継続実施となります。

2005 年 4 月より発達障害者支援法が施行され、全国的な支援が広がるようになりました。しかし、いまだに多くの発達障害成人の方たちが、十分な支援ない状態に置かれています。なかでも、高機能広汎性発達障害の場合、いままでは障害者福祉の対象ではなかったため、どのような支援が必要であるかの理解が普及していないのが実情です。発達障害であることの診断が遅れた場合が大きく、二次的な精神科疾患を合併し、その後引きこもったりする場合も少なくありません。また、もともとの社会性の障害のため詐欺被害にあうなどのこともあり社会的な問題にもなっています。

平成 18 年度より、アスペ・エルデの会が、福祉医療機構からの助成金で成人期の高機能広汎性発達障害者のサポート・ネットワーク作り事業を実施しております。アスペ・エルデの会は、1992 年より、わが国では最も早くから高機能広汎性発達障害児者への支援をスタートした自助団体でもあり、支援・研究機関でもあります。乳幼児期から成人期まで多くの人たちの支援をしつつ、そのノウハウをまとめてきました。

今年度は、午前が当事者ご家族、午後が当事者ご本人対象で、一般の講演に加え実際にどうしたらいいかという実習を含めた、具体的に家庭で役に立つ内容を実施する予定です。

具体的にどう取り組むかを、各地の現場の臨床家の皆様に覚えていただきながら実施していくやり方を考えており、多数の当事者ご本人や家族、支援者の臨床家の方たちとご一緒にしたいと考えております。国の事業の一環ですので、無料での開催となります。

せっかくの機会ですし、最新の世界的な研究動向などもあわせてお話できればとも考えておりますので、関係の皆様にも広くお声がけいただき、多くの方にご参加をお願いできましたら幸いです。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。